

学年：3年	単元名：5. 長いものの長さのはかり方と表し方 —長い長さをはかって表そう
-------	--

### 1. 単元目標：(全7時間)

○量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり、およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の関係を統合的に考える力を養うとともに、身の回りのものの長さを測定した過程を振り返り、量感覚を身に付け、学習に生かそうとする態度を養う。

考判表・長さを測る道具の使い方を考える。(まき尺)

- ・長さの単位 km を体感する。

知・技・長さについて、およその見当をつけ、適切な単位や計器を選んで測定したりすることができる。

- ・長さの単位キロメートルや測定の意味を理解する。
- ・長さについての豊かな感覚を持つ。

### 2. 指導内容

・

### 3. 指導のポイント

○巻尺の使い方は習熟するよう指導する。

- ・どれくらいの長さを測るときに使うか？
- ・どんなものを測るときに使うか？
- ・どうやって測るか？←測り方は、考えさせる。(メモリの読み方・測るときの注意)
- ・ものさしと比較しながら指導していく。

○1km は、直線コースを実際に歩かせて体感させたい。

- ・「何分かかる？」とか「何歩？」とか「学校からどこまで？」など予想させて実測させたい。

○道のりの計算は、「km」と「m」を別々に計算させるようにしたい。

○距離を時間で表したり、時間を距離で表したりして、生活の中で活かすようにする。

### 4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

## 5. 学習展開

### 第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○巻き尺を使ってマットの長さをはかろう。（P56/57/58）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
（導入）復習 P56 1. 問題把握 T: 今日から長い長さのはかり方の勉強をします。 使う道具は、これです。何だか知っていますか。→C: 巻き尺 T: そうです。ではこれを使って、マットの長さをはかりましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• マット、巻き尺</li> <li>• マットの長さは、事前にはかかっておく。</li> </ul>
2. 自力解決・学びあい ※4人1組で、巻き尺を使って、マットの長さをはかる。 ※各班の記録を黒板にかく。 T: だいたい同じ長さになりました。OmOcmです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 班ごとの集計表</li> </ul>
3. まとめ・ふりかえり T: どんなことに気を付けてはかりましたか。→C: 発表 1. 使い方 ①はしを「0」に合わせる。 ②ピンと引っ張る。 ③まっすぐはかる。 2. めもりの読み方 ①1cmのめもりを見つける。 ②50cmのめもり。 ③1mのめもり。 ④OmOcmとよむ。 T: 巻き尺の使い方がわかりましたね。 巻き尺は、まっすぐの長さばかりでなく、丸いものの長さもはかることもできます。 では、P58①②をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発表の内容をまとめる。              1. 道具の使い方              2. めもりの読み方の2種類にまとめる。</li> <li>• 測り方を示す。</li> </ul>

### 第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○巻き尺でいろいろな長さをはかりましょう。（P59）

- 10mの長さを歩いて体感する。（事前に10mをつくっておく。）
- いろいろな長さをはかる。（WS①・4人1組）
  - 巻き尺は、曲がったところ、周りの長さ（木など）をはかることができる。ものさしとの違いを実感させたい。
- P59⑤

